

会員の広場

聞かせ、日々が健康で楽しく暮らせる様に心がけて、生涯現役で二度とない人生を悔いのない様生きたいと努力しています。

磐梯高原にわく乳白色の美湯

西部地区 山本 好男

定年退職してはや十五年。毎年楽しみにしている温泉旅行の行く先を旅の雑誌や旅行社で調べ今回は東北の磐梯高原にわく乳白色の美湯『野地温泉』を旅することにした。

福島県の野地温泉は標高一二〇〇メートルの磐梯高原にあり、ここからの眺めは福島市街を見下ろすことができる。紅葉の季節に訪れたので旅館につくまでの道中の山々は見事に紅葉し絵にかいたような素晴らしい景色でした。

ブナ林の中にあるので、野鳥のさえずりや、木々のざわめきを聞きながら入浴できる風流さがうれしい。

一軒宿の野地泉ホテルは「東北の美湯」と呼ばれる乳白色の湯がどの湯船にもなみなみと張られている。とろりとしたその湯はとりわけ胃腸病に効能があるといわれ、古くから多くの湯治客が利用をしている。この宿の湯船は遊び心と工夫にあふれているのが特徴だ。

宿で最も古くからある檜風呂の「千手の湯」は、湯船が中で三つに仕切られていて、それぞれに異なる温度の湯を楽しむ。湯船の底から源泉がわき出ているので、その感触を楽しみながら浴槽を変えつつ長湯が楽しめる。

変わった趣向という点では、「天狗の湯」も面白い。この湯は内湯と露天風呂の湯船が、つながっているため、お湯に入ったまま内と外を行き来できる内湯に浸かって温まっているうちに、外気にあたりたくなった時などにはありがたい。

ほかにも、夜になると美しいライトアップされる露天風呂「鬼面の湯」やサウナ付きの男女別大浴場などもあり、温泉好きを飽きさせない。全部の湯船をめぐってみたいくなる、魅力いっぱいの温泉宿だった。

町民体育祭に参加して

形原地区 壁谷 秀雄

大会当日は雲一点ない絶好の秋日和のなか、第二十三回形原町民体育祭に参加し、蒲郡市

内でも数少ない行事として、公民館長始め出場者、関係者を含め二千数百人を一同に集めての行事が今日まで続いている事は素晴らしいことです。それに参加できる私達も誇りに思っています。こうした行事によって、形原町民の集いの場として一層の親睦を深める事は意義ある事です。私共長寿会も先輩達の努力により参加する事十数年と聞き及んでいます、が今後も先輩達に恥じない様参加していきたいものです。

参加種目としては例年にちなんで踊り二曲とし都度変更していますが、今回は「これから音頭」と「蒲郡音頭」となりました。三ヶ月にわたり四ヶ所の会場にて、数人のリーダーの方々をお願いをして練習に励んでいました。何分にも高齢者対象ですから、先生達も御苦勞な事だったでしょうが、習う会員の皆様方も必死です。練習風景を目の当たりにして皆様方の努力と意欲に目がしらに熱いものを感じると共に、心から有難うと言葉の掛けたい思いでした。当日は八十人程参加して四十人程で円陣をつくり、それを二組作って演戲を行います。年ごとに八十人の確保が難しく、民生委員の方々にも深いご理解とご協力を頂いているのが現状です。演技も練習した成果もあって演技も無事に終え退場門近くでは手を取り合い「よかった、よかった」と肩を叩き合う様子は微笑ましく感じました。参加してよかったの一語に尽きます。

最後になりましたが、関係者一同のご尽力により無事終らせて頂く事が出来ました、有り難うございました。人集めが難しい今日この頃ですが、今後も伝統ある体育祭の灯りを消す事のないよい望みたいものです。

学習会(公演会)に参加して

蒲郡地区 吉見 明次

日本は遂にお金さえ出せば時間でも買えると盲目になりました。教育や政治が型を作ります。

歴史家によると、日本の江戸時代は1日4時間位しか働かなかったそうです。それでも幸せか?

講師はS先生で、その時の話の一端です。

「老人力で心豊かに」の要旨。我が身の態度、表情だけで、世に盡せる事は①心施②眼施③和顔施と云う。

老人の使命は、文化の伝承である。華美な事は若者の特許である。

などの説教がありました。